



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

わらべうたで遊ぼう

赤ちゃんとお過ごす時間にわらべうたはいかがですか？絵本やCD付きの本もあるのでお家で気軽に楽しんでください。最後に“こちょこちょ”で赤ちゃん大喜び！

わらべうたはいつでもどこでもすぐにできて、ふれあいたっぷり！



◆本はココ！ 児童室のうた絵本コーナーやおはなしの部屋内“育児本”コーナーへどうぞ♪お気に入りのうたを見つけてくださいね。



図書館に入った本

毎月たくさんの本やCDが入るよ！
一部を紹介するね♪



『今すぐできる！』

猫が長生きできる家
と部屋の作り方

今泉忠明／監修 宝島社

動物学者が教える知恵がいっぱい！猫が長生きするための条件、猫が安心できる居場所作り、老猫との暮らし。Q&Aやコラムは猫を飼ってみたい方にもおすすめです。



『絶望書店』

夢をあきらめた9人が出会った物語

頭木 弘樹／編 河出書房新社



『クッキングと人生相談』

悩みこそ究極のスパイス

枝元 なほみ、『ビッグイシュー日本版』販売者／著 ビッグイシュー日本



『医師が教えるゼロポジ座り』

中村 格子／著 講談社

『50歳からのついでヨガ』

深堀 真由美／著 大和書房



『漁師になるには』

大浦 佳代／著 ペリかん社



『モネのあしあと 私の印象派鑑賞術』

原田 マハ／著 幻冬舎



『よのなかルールブック』

メシが食える大人になる!!

高濱 正伸／監修 林 ユミ／絵 日本図書センター



『竹島水族館の本』

竹島水族館／著

※当館製作。デイジー図書は本を読むのが困難な方に貸出する録音図書です。

魚は我々をどう見ているのか

■魚もヒトを見ている

水族館で魚たちを見ていると、時に魚たちも我々をガラス越しに見ていることがあります。我々が動くとき魚の目玉も動くので本当にこちらを見て観察していると思います。大きな水槽で悠々と泳ぐ魚にはこの傾向は少なく、小さな水槽で単独で泳いでいる魚はヒマなのか毎日お客さんを眺めています。魚というのは実はかなり目が良いということが最近の研究で分かってきたようです。

■魚の見ている世界

ヒトは光の明暗の他に赤・緑・青の「3つ」の光の波長を区別して脳に送り、脳がそれぞれの波長に色を付けて（判断して）モノや光を色彩として区別しています。しかし、魚は赤・緑・青に加えて紫外線も受容するシステムを持っており、ヒトよりなんと「1つ多い」のです。よく言われるようにイヌやネコは白黒の世界で生きていると言われていますが、白黒は明暗であり実際には赤と青の受容体の2つで物を見ており、どちらかというと青と黄色が



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

■人と違う世界が見えている
また、魚の目は魚眼レンズで、同じ物でも見る角度によっても色が違った世界ということが最近の通説のようです。イヌネコが2色の世界、ヒトは3種類の光の受容システム、それなのに魚は3色の世界で物を見ておるのか、とても悔しい、と思うかもしれません。が事実らしく、これはその昔我々の祖先の哺乳類が恐竜に比べて洞窟の中に隠れて長年暮らしていた時代に失ってしまったという説が有力です。恐竜のせいで魚のほうカラフルに世界を見ている結果となつてい。その恐竜が属する爬虫類も、そして鳥も4色の受容体を持っています。

水族館でガラス越しにヒトを観察する魚たちは、我々が観察する世界とは違った見え方で、ひょっとすると楽しく綺麗で豊かな世界でヒトを見ているのかもしれないのです。見て見ているのではないかと聞かれています。クリクリかわいく目玉を動かしてこちらを見てくるクエなんかは「おいしそうだね」なんて言っているヒトよりも相当レベルの高い感覚でこちらを見ているのかもしれない。思えば釣り上げられた魚が暴れながらこちらを見ている瞳の奥は、なにかすごく無念や憎しみやだましやがったな、という思いのこもったものを感じる時がある。きつと針にかかって糸にぶら下がったままヒトよりも凄惨な視覚システムでこちらを見ているのです。